

# 東京大学海洋研究所共同利用研究集会

## 海底拡大系の総合研究

### -InterRidge-Japan 研究発表集会-

日 時： 平成19年10月30日(火) 10:00~18:00  
10月31日(水) 9:00~17:30

場 所： 東京大学海洋研究所 講堂  
〒164-8639 東京都中野区南台1-15-1 TEL 03-5351-6342

コンピーナー： 島 伸和 (神戸大学 seama@kobe-u.ac.jp)  
宮下純夫 (新潟大学 miyashit@sc.niigata-u.ac.jp)  
高井 研 (海洋研究開発機構 kent@jamstec.go.jp)

海洋研対応者： 沖野郷子 (東京大学海洋研究所 okino@ori.u-tokyo.ac.jp)  
田村千織 (東京大学海洋研究所 chiorita@ori.u-tokyo.ac.jp)

## プログラム

各講演原則 30 分 (講演時間 20 分、質疑応答および交代含め 10 分)

10月30日(火)

10:00 12:00

開会の挨拶 島 伸和 (神戸大学)

1. 北極海ガッセル海嶺における AUV 地磁気探査

佐藤太一 (東大海洋研究所)・野木義史 (国立極地研究所)・沖野郷子 (東大海洋研究所)

2. 北極海ガッセル海嶺の海底熱水調査研究-AGAVE cruise-の概要と問題点

中村光一 (産業技術総合研究所)・佐藤太一 (東大海洋研究所)・

野木義史 (国立極地研究所)・沖野郷子 (東大海洋研究所)

3. IODP ゴジラムリオン掘削事前調査：KH07-2-Leg 2 & 4 航海速報

小原泰彦 (海上保安庁海洋情報部)・沖野郷子 (東大海洋研究所)・

Jonathan E. Snow (University of Houston)・KH07-2-Leg 2 & 4 乗船研究者一同

4. The development of shear zones within in situ lower crust at the Godzilla Mullion, Philippine sea

針金由美子・道林克禎 (静岡大学)・小原泰彦 (海上保安庁海洋情報部)

## 昼食

13:15 15:15

5. **熱流量高密度測定による海底熱水系水理構造推定の試み**  
正木裕香（高知大学）・川田佳史（名古屋大学）
6. **海底熱水循環の数値シミュレーション：海水の相分離と循環領域形状の影響による噴出熱水の塩濃度変化**  
朝倉 彬・川田佳史・吉田茂生（名古屋大学）
7. **沖縄トラフと伊豆・小笠原弧に生息する多毛類(*Paralvinella* sp.)の遺伝的集団構造**  
頼末武史・小島茂明（東京大学）・渡部裕美（海洋研究開発機構）
8. **南部マリアナトラフにおける熱水性堆積物中の微生物相**  
加藤真悟・小林智織（東京薬科大学）・掛川武・佐藤誠悟（東北大学）・  
横堀伸一（東京薬科大学）・益田晴恵（大阪市立大学）・浦辺徹郎（東京大学）・  
山岸明彦（東京薬科大学）

## 休憩

15:30 18:00

9. **硫黄酸化の熱水生態系における重要性**  
山本正浩（海洋研究開発機構）
10. **海底熱水系試料での微生物機能遺伝子探索 - IGC メタゲノム解析法による世界初の解析事例 -**  
丸山明彦・ホサム エルセイド（産業技術総合研究所）
11. **ゲノム解析から見てきた熱水生態系の一次生産者とヒトに蔓延する病原性微生物の関係**  
中川 聡・高木善弘・島村 繁・高井 研（海洋研究開発機構）
12. **気液分離管を装備したガスクロによる海水中の極微量水素，二酸化炭素，メタンの直接測定法の開発**  
鈴木勝彦・中村謙太郎（海洋研究開発機構）・安居茂夫（島津）・  
高井 研（海洋研究開発機構）
13. **海嶺研究における AUV 利用の到達点と今後の展開**  
中村光一（産業技術総合研究所）

InterRidge-Japan 連絡 島 伸和（神戸大学）

18:30 懇親会

10月31日(水)

9:00 12:00

14. 拡大速度と海洋地殻組成

根尾夏紀・宮下純夫(新潟大学)

15. 上部海洋地殻の構成とその形成条件について

海野 進(静岡大学)

16. オマーンオフィオライト海洋地殻溶岩層について

草野有紀・宮下純夫(新潟大学)

17. 海洋地殻の地殻構造と形成プロセス

宮下純夫・足立佳子(新潟大学)

18. オマーンオフィオライト北部地域におけるモホ遷移帯

橋本瑛久・足立佳子・宮下純夫(新潟大学)

昼食

13:15 15:15

19. インド洋MORBとかんらん岩の関係と海洋島玄武岩の混染の影響~Os同位体組成からの視点~

仙田量子・鈴木勝彦・熊谷英憲・中村謙太郎(海洋研究開発機構)・佐藤 暢(専修大学)

20. ロドリゲス三重点、三角山の成因: Sr-Nd-Pb 同位体組成からみた海嶺軸から離れた火成活動の起源マントルの検証

平原由香・中村謙太郎(海洋研究開発機構)・佐藤 暢(専修大学)・  
羽生毅・熊谷英憲・鈴木勝彦・仙田量子(海洋研究開発機構)

21. プルームの化学組成が示す中央インド洋海嶺ロドリゲスセグメントに噴出する熱水の特徴

川口慎介(東大海洋研究所)・岡村 慶(高知大学)・清田 馨(東大海洋研究所)・  
角皆 潤(北海道大学)・浦 環(東大生産技術研究所)・玉木賢策(東大院工)・  
佐野有司・蒲生俊敬(東大海洋研究所)

22. 熱水変質実験によるカンラン岩の蛇紋岩化作用と水素発生のメカニズム

鈴木勝彦(海洋研究開発機構)・  
渡辺祐也・大森聡一・澁谷岳造・山本伸次(東京工業大学)・  
中村謙太郎(海洋研究開発機構)・吉崎もと子(東京工業大学)・  
清水健二・熊谷英憲(海洋研究開発機構)・丸山茂徳(東京工業大学)・  
高井 研(海洋研究開発機構)

休憩

15:30 17:30

**23. 海嶺下における熱水変質作用の新たな展開：オマーンオフィオライトにおける緑泥石岩発見の意義**

宮下純夫・足立佳子・根尾夏紀（新潟大学）

**24. タングステン同位体比とタングステン濃度の地球化学的研究**

賞雅朝子・中井俊一・Sahoo Yu Vin（東大地震研究所）・熊谷英憲（海洋研究開発機構）・海野 進（静岡大学）

**25. 中部マリアナ沈み込み・前弧・島弧・背弧系の電気伝導度構造**

松野哲男・島 伸和（神戸大学）・馬場聖至（東大地震研究所）・後藤忠徳（海洋研究開発機構）・Alan Chave・Rob L. Evans（ウッズホール海洋研究所）・Antony White（フリンダース大学）・Goran Boren（アデレード大学）・米田朝美（東大地震研究所）・Graham Heinson（アデレード大学）・岩本久則・辻野良輔（神戸大学）・馬場祐太・歌田久司（東大地震研究所）・末広 潔（海洋研究開発機構）

**26. 中部マリアナ海域における海底地磁気変換関数**

米田朝美・馬場聖至・歌田久司（東大地震研究所）・島 伸和・松野哲男（神戸大学）・後藤忠徳（海洋研究開発機構）・Alan Chave・Rob L. Evans（ウッズホール海洋研究所）・Antony White（フリンダース大学）・Goran Boren・Graham Heinson（アデレード大学）

**閉会の挨拶**

宮下純夫（新潟大学）